



ファイル
セキュリティと監査ポリシーに関する情報の表
示
ONTAP 9

NetApp
February 12, 2026

目次

ファイル セキュリティと監査ポリシーに関する情報の表示	1
ONTAP SMBファイルセキュリティと監査ポリシーの表示について学習します	1
ファイル セキュリティに関する情報の表示	1
監査ポリシーに関する情報の表示	1
ストレージレベルのアクセス保護 (SLAG) セキュリティに関する情報の表示	1
ダイナミック アクセス制御 (DAC) セキュリティに関する情報の表示	1
ONTAP SMBファイルセキュリティに関する情報を NTFSセキュリティ形式のボリューム上に表示します	2
混合セキュリティ形式のボリューム上のONTAP SMBファイルセキュリティに関する情報を表示します	8
UNIXセキュリティ形式のボリューム上のONTAP SMBファイルセキュリティに関する情報を表示します	11
SMB FlexVol ボリューム上の NTFS 監査ポリシーに関する情報を表示する ONTAP コマンド	14
SMB FlexVol ボリューム上の NFSv4 監査ポリシーに関する情報を表示する ONTAP コマンド	17
ONTAP SMBファイルのセキュリティと監査ポリシー情報を表示する方法を学びます	18

ファイルセキュリティと監査ポリシーに関する情報の表示

ONTAP SMBファイルセキュリティと監査ポリシーの表示について学習します

Storage Virtual Machine (SVM) のボリューム内に格納されたファイルとディレクトリのファイルセキュリティに関する情報を表示できます。FlexVolの監査ポリシーに関する情報を表示できます。設定されている場合、FlexVolのストレージレベルのアクセス保護およびダイナミック アクセス制御セキュリティの設定に関する情報を表示できます。

ファイルセキュリティに関する情報の表示

次のセキュリティ形式のボリュームと (FlexVolの) qtreeに格納されたデータに適用されているファイルセキュリティに関する情報を表示できます。

- NTFS
- UNIX
- 混合

監査ポリシーに関する情報の表示

次のNASプロトコルを介したFlexVolのアクセス イベントを監査する監査ポリシーに関する情報を表示できます。

- SMB (すべてのバージョン)
- NFSv4.x

ストレージレベルのアクセス保護 (SLAG) セキュリティに関する情報の表示

ストレージレベルのアクセス保護セキュリティは、次のセキュリティ形式のFlexVolおよびqtreeオブジェクトに適用できます。

- NTFS
- 混合
- UNIX (ボリュームが含まれるSVMでCIFSサーバが設定されている場合)

ダイナミック アクセス制御 (DAC) セキュリティに関する情報の表示

ダイナミック アクセス制御セキュリティは、次のセキュリティ形式のFlexVol内のオブジェクトに適用できます。

- NTFS
- Mixed (オブジェクトにNTFS対応のセキュリティが設定されている場合)

関連情報

- [Storage-Level Access Guard を使用した安全なファイルアクセスについて学習します](#)
- [サーバ上の Storage-Level Access Guard に関する情報を表示する](#)

ONTAP SMBファイルセキュリティに関する情報をNTFSセキュリティ形式のボリューム上に表示します

セキュリティ形式と有効なセキュリティ形式、適用されている権限、DOS属性に関する情報など、NTFSセキュリティ形式のボリューム上にあるファイルやディレクトリのセキュリティに関する情報を表示できます。この結果を使用して、セキュリティ設定の検証や、ファイル アクセスに関する問題のトラブルシューティングを行うことができます。

タスク概要

Storage Virtual Machine (SVM) の名前、およびファイルまたはフォルダのセキュリティ情報を表示するデータのパスを入力する必要があります。出力には要約または詳細な一覧を表示できます。

- NTFSセキュリティ形式のボリュームとqtreeでは、NTFSファイル権限およびWindowsのユーザとグループのみを使用してファイルのアクセス権を判断するため、UNIX関連の出力フィールドのUNIXファイル権限情報は表示のみです。
- ACL出力は、NTFSセキュリティが適用されたファイルとフォルダについて表示されます。
- ストレージレベルのアクセス保護セキュリティは、ボリュームのルートまたはqtreeで設定できるので、ストレージレベルのアクセス保護が設定されているボリュームまたはqtreeパスの出力には、通常のファイルACLとストレージレベルのアクセス保護ACLの両方が表示されることがあります。
- そのファイルまたはディレクトリパスにダイナミック アクセス制御が設定されていれば、ダイナミックアクセス制御ACEに関する情報も出力に表示されます。

手順

1. ファイルとディレクトリのセキュリティ設定を必要な詳細レベルで表示します。

情報を表示する場合...	入力するコマンド
要約形式	<pre>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path</pre>
詳細	<pre>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path -expand-mask true</pre>

例

次の例では、SVM vs1 内のパス ``/vol4``に関するセキュリティ情報を表示します：

```
cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /vol4
```

```
                Vserver: vs1
                File Path: /vol4
    File Inode Number: 64
                Security Style: ntfs
                Effective Style: ntfs
                DOS Attributes: 10
    DOS Attributes in Text: ----D---
    Expanded Dos Attributes: -
                Unix User Id: 0
                Unix Group Id: 0
                Unix Mode Bits: 777
    Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
                ACLs: NTFS Security Descriptor
                    Control:0x8004
                    Owner: BUILTIN\Administrators
                    Group: BUILTIN\Administrators
                    DACL - ACEs
                    ALLOW-Everyone-0x1f01ff
                    ALLOW-Everyone-0x10000000-
```

OI|CI|IO

次の例では、SVM vs1 内のパス `/data/engineering` に関する拡張マスク付きのセキュリティ情報を表示します
:

```
cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path -path  
/data/engineering -expand-mask true
```

```
                Vserver: vs1
                File Path: /data/engineering
    File Inode Number: 5544
                Security Style: ntfs
                Effective Style: ntfs
                DOS Attributes: 10
    DOS Attributes in Text: ----D---
    Expanded Dos Attributes: 0x10
    ...0 .... = Offline
    .... ..0. .... = Sparse
    .... ...0... .... = Normal
    .... .... ..0. .... = Archive
    .... .... ...1 .... = Directory
    .... .... .... .0.. = System
    .... .... .... ..0. = Hidden
    .... .... .... ...0 = Read Only
```

```

    Unix User Id: 0
    Unix Group Id: 0
    Unix Mode Bits: 777
Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
    ACLs: NTFS Security Descriptor
    Control:0x8004

```

```

    1... .. = Self Relative
    .0.. .. = RM Control Valid
    ..0. .. = SACL Protected
    ...0 .. = DACL Protected
    .... 0... .. = SACL Inherited
    .... .0.. .. = DACL Inherited
    .... ..0. .. = SACL Inherit Required
    .... ...0 .. = DACL Inherit Required
    .... .... .0. .... = SACL Defaulted
    .... .... ...0 .... = SACL Present
    .... .... .... 0... = DACL Defaulted
    .... .... .... .1.. = DACL Present
    .... .... .... ..0. = Group Defaulted
    .... .... .... ...0 = Owner Defaulted

```

```

Owner:BUILTIN\Administrators
Group:BUILTIN\Administrators
DACL - ACEs

```

```

ALLOW-Everyone-0x1f01ff

```

```

    0... .. =
Generic Read
    .0.. .. =
Generic Write
    ..0. .. =
Generic Execute
    ...0 .. =
Generic All
    .... .0 .. =
System Security
    .... ..1 .. =
Synchronize
    .... .... 1... .. =
Write Owner
    .... .... .1.. .. =
Write DAC
    .... .... ..1. .... =
Read Control
    .... .... .... .1 .. =
Delete

```

```

.....1.....=
Write Attributes
.....1.....=
Read Attributes
.....1.....=
Delete Child
.....1.....=
Execute
.....1.....=
Write EA
.....1.....=
Read EA
.....1.....=
Append
.....1.....=
Write
.....1.....=
Read
.....1.....=

ALLOW-Everyone-0x10000000-OI|CI|IO
0.....=
Generic Read
.0.....=
Generic Write
..0.....=
Generic Execute
...1.....=
Generic All
.....0.....=
System Security
.....0.....=
Synchronize
.....0.....=
Write Owner
.....0.....=
Write DAC
.....0.....=
Read Control
.....0.....=
Delete
.....0.....=
Write Attributes
.....0.....=
Read Attributes
.....0.....=
Delete Child
.....0.....=

```

```
Execute .....0. .... =
Write EA .....0 ..... =
Read EA ..... 0... =
Append ..... .0.. =
Write ..... ..0. =
Read ..... ..0 =
```

次の例では、SVM vs1 内のパス '/datavol1'を持つボリュームのセキュリティ情報（ストレージレベルのアクセスガードのセキュリティ情報を含む）を表示します：

```
cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path
/datavol1
```

```

    Vserver: vs1
    File Path: /datavol1
File Inode Number: 77
    Security Style: ntfs
    Effective Style: ntfs
    DOS Attributes: 10
DOS Attributes in Text: ----D---
Expanded Dos Attributes: -
    Unix User Id: 0
    Unix Group Id: 0
    Unix Mode Bits: 777
Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
    ACLs: NTFS Security Descriptor
        Control:0x8004
        Owner: BUILTIN\Administrators
        Group: BUILTIN\Administrators
        DACL - ACEs
            ALLOW-Everyone-0x1f01ff
            ALLOW-Everyone-0x10000000-OI|CI|IO

Storage-Level Access Guard security
SACL (Applies to Directories):
    AUDIT-EXAMPLE\Domain Users-0x120089-FA
    AUDIT-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff-SA
DACL (Applies to Directories):
    ALLOW-EXAMPLE\Domain Users-0x120089
    ALLOW-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff
    ALLOW-NT AUTHORITY\SYSTEM-0x1f01ff
SACL (Applies to Files):
    AUDIT-EXAMPLE\Domain Users-0x120089-FA
    AUDIT-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff-SA
DACL (Applies to Files):
    ALLOW-EXAMPLE\Domain Users-0x120089
    ALLOW-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff
    ALLOW-NT AUTHORITY\SYSTEM-0x1f01ff
```

関連情報

- [mixedセキュリティ形式のボリュームのファイルセキュリティに関する情報の表示](#)
- [UNIXセキュリティ形式のボリュームのファイルセキュリティに関する情報の表示](#)

混合セキュリティ形式のボリューム上のONTAP SMBファイルセキュリティに関する情報を表示します

セキュリティ形式と有効なセキュリティ形式、適用されている権限、UNIXの所有者とグループに関する情報など、mixedセキュリティ形式のボリューム上にあるファイルやディレクトリのセキュリティに関する情報を表示できます。この結果を使用して、セキュリティ設定の検証や、ファイル アクセスに関する問題のトラブルシューティングを行うことができます。

タスク概要

Storage Virtual Machine (SVM) の名前、およびファイルまたはフォルダのセキュリティ情報を表示するデータのパスを入力する必要があります。出力には要約または詳細な一覧を表示できます。

- mixedセキュリティ形式のボリュームおよびqtreeは、UNIXファイル権限（モード ビットまたはNFSv4 ACL）を使用するファイルおよびフォルダと、NTFSファイル権限を使用するファイルおよびディレクトリを格納できます。
- mixedセキュリティ形式のボリュームの最上位には、UNIX対応のセキュリティまたはNTFS対応のセキュリティを設定できます。
- ACL出力は、NTFSまたはNFSv4セキュリティが適用されたファイルとフォルダについてのみ表示されます。

このフィールドは、モード ビットの権限のみ（NFSv4 ACLはなし）が適用されているUNIXセキュリティ形式のファイルおよびディレクトリでは空になります。

- ACL出力の所有者とグループの出力フィールドは、NTFSセキュリティ記述子の場合にのみ適用されます。
- ストレージレベルのアクセス保護セキュリティは、たとえボリュームのルートまたはqtreeの有効なセキュリティ形式がUNIXでも、mixedセキュリティ形式のボリュームまたはqtreeで設定できるので、ストレージレベルのアクセス保護が設定されているボリュームまたはqtreeパスの出力には、UNIXファイル権限とストレージレベルのアクセス保護ACLの両方が表示されることがあります。
- コマンドで入力したパスが、NTFS対応のセキュリティを使用するデータへのパスである場合、そのファイルまたはディレクトリパスにダイナミック アクセス制御が設定されていれば、ダイナミック アクセス制御ACEに関する情報も出力に表示されます。

手順

1. ファイルとディレクトリのセキュリティ設定を必要な詳細レベルで表示します。

情報を表示する場合...	入力するコマンド
要約形式	<pre>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path</pre>
詳細	<pre>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path -expand-mask true</pre>

例

次の例は、SVM vs1 内のパス `/projects` に関するセキュリティ情報を拡張マスク形式で表示します。この混合セキュリティ形式のパスは、UNIX 対応のセキュリティを備えています。

```
cluster1::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path
/projects -expand-mask true

          Vserver: vs1
          File Path: /projects
File Inode Number: 78
          Security Style: mixed
          Effective Style: unix
          DOS Attributes: 10
DOS Attributes in Text: ----D---
Expanded Dos Attributes: 0x10
...0 .... = Offline
... ..0. .... = Sparse
... ..0... .... = Normal
... ..0. .... = Archive
... ..1 .... = Directory
... ..0.. = System
... ..0. = Hidden
... ..0 = Read Only
          Unix User Id: 0
          Unix Group Id: 1
          Unix Mode Bits: 700
Unix Mode Bits in Text: rwx-----
          ACLs: -
```

次の例は、SVM vs1 内のパス `/data` のセキュリティ情報を表示します。この混合セキュリティ形式のパスには、NTFS 対応のセキュリティが適用されます。

```
cluster1::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /data
```

```
          Vserver: vs1
          File Path: /data
    File Inode Number: 544
          Security Style: mixed
    Effective Style: ntfs
          DOS Attributes: 10
    DOS Attributes in Text: ----D---
Expanded Dos Attributes: -
          Unix User Id: 0
          Unix Group Id: 0
          Unix Mode Bits: 777
    Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
          ACLs: NTFS Security Descriptor
                Control:0x8004
                Owner: BUILTIN\Administrators
                Group: BUILTIN\Administrators
                DACL - ACEs
                    ALLOW-Everyone-0x1f01ff
                    ALLOW-Everyone-0x10000000-
```

OI|CI|IO

次の例は、SVM vs1のパス `/datavol5`にあるボリュームのセキュリティ情報を表示します。この混合セキュリティ形式のボリュームの最上位レベルには、UNIX対応のセキュリティが設定されています。このボリュームには、ストレージレベルのアクセス保護セキュリティが設定されています。

```
cluster1::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /datavol5
```

```
      Vserver: vs1
      File Path: /datavol5
File Inode Number: 3374
      Security Style: mixed
      Effective Style: unix
      DOS Attributes: 10
DOS Attributes in Text: ----D---
Expanded Dos Attributes: -
      Unix User Id: 0
      Unix Group Id: 0
      Unix Mode Bits: 755
Unix Mode Bits in Text: rwxr-xr-x
      ACLs: Storage-Level Access Guard security
      SACL (Applies to Directories):
          AUDIT-EXAMPLE\Domain Users-0x120089-FA
          AUDIT-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff-SA
          AUDIT-EXAMPLE\market-0x1f01ff-SA
      DACL (Applies to Directories):
          ALLOW-BUILTIN\Administrators-0x1f01ff
          ALLOW-CREATOR OWNER-0x1f01ff
          ALLOW-EXAMPLE\Domain Users-0x120089
          ALLOW-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff
          ALLOW-EXAMPLE\market-0x1f01ff
      SACL (Applies to Files):
          AUDIT-EXAMPLE\Domain Users-0x120089-FA
          AUDIT-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff-SA
          AUDIT-EXAMPLE\market-0x1f01ff-SA
      DACL (Applies to Files):
          ALLOW-BUILTIN\Administrators-0x1f01ff
          ALLOW-CREATOR OWNER-0x1f01ff
          ALLOW-EXAMPLE\Domain Users-0x120089
          ALLOW-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff
          ALLOW-EXAMPLE\market-0x1f01ff
```

関連情報

- [NTFSセキュリティ形式のボリュームのファイルセキュリティに関する情報の表示](#)
- [UNIXセキュリティ形式のボリュームのファイルセキュリティに関する情報の表示](#)

UNIXセキュリティ形式のボリューム上のONTAP SMBファイルセキュリティに関する情報を表示します

セキュリティ形式と有効なセキュリティ形式、適用されている権限、UNIXの所有者とグ

ループに関する情報など、UNIXセキュリティ形式のボリューム上にあるファイルやディレクトリのセキュリティに関する情報を表示できます。この結果を使用して、セキュリティ設定の検証や、ファイル アクセスに関する問題のトラブルシューティングを行うことができます。

タスク概要

Storage Virtual Machine (SVM) の名前、およびファイルまたはディレクトリのセキュリティ情報を表示するデータのパスを入力する必要があります。出力には要約または詳細な一覧を表示できます。

- ファイル権限の決定時、UNIXセキュリティ形式のボリュームおよびqtreeでは、UNIXファイル権限（モードビットまたはNFSv4 ACL）のみが使用されます。
- ACL出力は、NFSv4セキュリティが適用されたファイルとフォルダについてのみ表示されます。

このフィールドは、モードビットの権限のみ（NFSv4 ACLはなし）が適用されているUNIXセキュリティ形式のファイルおよびディレクトリでは空になります。

- ACL出力の所有者とグループの出力フィールドは、NFSv4セキュリティ記述子には該当しません。

これらのフィールドが意味があるのは、NTFSセキュリティ記述子の場合のみです。

- SVM に CIFS サーバが設定されている場合、UNIX ボリュームまたは qtree でストレージ レベルのアクセス ガード セキュリティがサポートされるため、出力には、`-path`パラメータで指定されたボリュームまたは qtree に適用されたストレージ レベルのアクセス ガード セキュリティに関する情報が含まれることがあります。

手順

1. ファイルとディレクトリのセキュリティ設定を必要な詳細レベルで表示します。

情報を表示する場合...	入力するコマンド
要約形式	<pre>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path</pre>
詳細	<pre>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path -expand-mask true</pre>

例

次の例では、SVM vs1 内のパス `/home`に関するセキュリティ情報を表示します：

```
cluster1::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /home
```

```
          Vserver: vs1
          File Path: /home
    File Inode Number: 9590
          Security Style: unix
          Effective Style: unix
          DOS Attributes: 10
    DOS Attributes in Text: ----D---
Expanded Dos Attributes: -
          Unix User Id: 0
          Unix Group Id: 1
          Unix Mode Bits: 700
    Unix Mode Bits in Text: rwx-----
          ACLs: -
```

次の例では、SVM vs1 内のパス `/home` に関するセキュリティ情報を拡張マスク形式で表示します：

```
cluster1::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /home
-expand-mask true
```

```
          Vserver: vs1
          File Path: /home
    File Inode Number: 9590
          Security Style: unix
          Effective Style: unix
          DOS Attributes: 10
    DOS Attributes in Text: ----D---
Expanded Dos Attributes: 0x10
    ...0 .... .. = Offline
    .... ..0. .... = Sparse
    .... .... 0... = Normal
    .... .... ..0. = Archive
    .... .... ...1 = Directory
    .... .... .... .0.. = System
    .... .... .... ..0. = Hidden
    .... .... .... ...0 = Read Only
          Unix User Id: 0
          Unix Group Id: 1
          Unix Mode Bits: 700
    Unix Mode Bits in Text: rwx-----
          ACLs: -
```

- セキュリティ形式のボリューム上のファイルセキュリティに関する情報を表示します
- mixedセキュリティ形式のボリュームのファイルセキュリティに関する情報の表示

SMB FlexVol ボリューム上の NTFS 監査ポリシーに関する情報を表示する ONTAP コマンド

FlexVolボリューム上のNTFS監査ポリシーに関する情報（セキュリティスタイルと有効なセキュリティスタイル、適用されている権限、システムアクセス制御リストに関する情報など）を表示できます。この結果を使用して、セキュリティ構成の検証や監査に関する問題のトラブルシューティングを行うことができます。

タスク概要

Storage Virtual Machine (SVM) の名前と、監査情報を表示するファイルまたはディレクトリへのパスを指定する必要があります。出力には要約または詳細な一覧を表示できます。

- NTFSセキュリティ形式のボリュームおよびqtreeでは、NTFSのシステムアクセス制御リスト (SACL) のみが監査ポリシーに使用されます。
- NTFS対応のセキュリティが有効なmixedセキュリティ形式のボリューム内のファイルおよびフォルダには、NTFS監査ポリシーを適用できます。

mixedセキュリティ形式のボリュームおよびqtreeは、UNIXファイル権限（モードビットまたはNFSv4 ACL）を使用するファイルおよびディレクトリと、NTFSファイル権限を使用するファイルおよびディレクトリを格納できます。

- mixedセキュリティ形式のボリュームの最上位では、UNIXまたはNTFS対応のセキュリティを有効にすることができ、そこにはNTFS SACLが格納されている場合も、格納されていない場合もあります。
- mixedセキュリティ形式のボリュームまたはqtreeでは、ボリュームのルートまたはqtreeの有効なセキュリティ形式がUNIXであっても、ストレージレベルのアクセス保護セキュリティを設定できるため、ストレージレベルのアクセス保護が設定されているボリュームまたはqtreeの出力には、標準ファイルおよびフォルダのNFSv4 SACLとストレージレベルのアクセス保護のNTFS SACLの両方が表示される場合があります。
- コマンドで入力したパスが、NTFS対応のセキュリティを使用するデータへのパスである場合、そのファイルまたはディレクトリパスにダイナミックアクセス制御が設定されていれば、ダイナミックアクセス制御ACEに関する情報も出力に表示されます。
- NTFS対応のセキュリティが有効なファイルおよびフォルダに関するセキュリティ情報の表示時には、UNIX関連の出力フィールドに表示専用のUNIXファイルアクセス権情報が格納されます。

ファイルアクセス権の決定時には、NTFSセキュリティ形式のファイルおよびフォルダで、NTFSファイルアクセス権とWindowsユーザおよびグループのみが使用されます。

- ACL出力は、NTFSまたはNFSv4セキュリティが適用されたファイルとフォルダについてのみ表示されません。

このフィールドは、モードビットの権限のみ（NFSv4 ACLはなし）が適用されているUNIXセキュリティ形式のファイルおよびフォルダでは空になります。

- ACL出力の所有者とグループの出力フィールドは、NTFSセキュリティ記述子の場合にのみ適用されません。

手順

1. ファイルおよびディレクトリ監査ポリシー設定を適切な詳細レベルで表示します。

情報を表示する場合...	入力するコマンド
要約形式	<code>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path</code>
詳細な一覧	<code>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path -expand-mask true</code>

例

次の例は、SVM vs1 内のパス `/corp` の監査ポリシー情報を表示します。パスには NTFS 有効セキュリティが設定されています。NTFS セキュリティ記述子には、SUCCESS と SUCCESS/FAIL の両方の SACL エントリが含まれています。

```
cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /corp
      Vserver: vs1
      File Path: /corp
      File Inode Number: 357
      Security Style: ntfs
      Effective Style: ntfs
      DOS Attributes: 10
      DOS Attributes in Text: ----D---
      Expanded Dos Attributes: -
      Unix User Id: 0
      Unix Group Id: 0
      Unix Mode Bits: 777
      Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
      ACLs: NTFS Security Descriptor
      Control:0x8014
      Owner:DOMAIN\Administrator
      Group:BUILTIN\Administrators
      SACL - ACEs
      ALL-DOMAIN\Administrator-0x100081-OI|CI|SA|FA
      SUCCESSFUL-DOMAIN\user1-0x100116-OI|CI|SA
      DACL - ACEs
      ALLOW-BUILTIN\Administrators-0x1f01ff-OI|CI
      ALLOW-BUILTIN\Users-0x1f01ff-OI|CI
      ALLOW-CREATOR OWNER-0x1f01ff-OI|CI
      ALLOW-NT AUTHORITY\SYSTEM-0x1f01ff-OI|CI
```

次の例は、SVM vs1 内のパス `/datavol1` の監査ポリシー情報を表示します。パスには、通常のファイルおよびフォルダの SACL と、ストレージレベルのアクセスガード SACL の両方が含まれています。

```
cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path
/datavol1
```

```

    Vserver: vs1
    File Path: /datavol1
    File Inode Number: 77
    Security Style: ntfs
    Effective Style: ntfs
    DOS Attributes: 10
    DOS Attributes in Text: ----D---
    Expanded Dos Attributes: -
    Unix User Id: 0
    Unix Group Id: 0
    Unix Mode Bits: 777
    Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
    ACLs: NTFS Security Descriptor
    Control:0xaa14
    Owner: BUILTIN\Administrators
    Group: BUILTIN\Administrators
    SACL - ACEs
    AUDIT-EXAMPLE\marketing-0xf01ff-OI|CI|FA
    DACL - ACEs
    ALLOW-EXAMPLE\Domain Admins-0x1f01ff-OI|CI
    ALLOW-EXAMPLE\marketing-0x1200a9-OI|CI

    Storage-Level Access Guard security
    SACL (Applies to Directories):
    AUDIT-EXAMPLE\Domain Users-0x120089-FA
    AUDIT-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff-SA
    DACL (Applies to Directories):
    ALLOW-EXAMPLE\Domain Users-0x120089
    ALLOW-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff
    ALLOW-NT AUTHORITY\SYSTEM-0x1f01ff
    SACL (Applies to Files):
    AUDIT-EXAMPLE\Domain Users-0x120089-FA
    AUDIT-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff-SA
    DACL (Applies to Files):
    ALLOW-EXAMPLE\Domain Users-0x120089
    ALLOW-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff
    ALLOW-NT AUTHORITY\SYSTEM-0x1f01ff
```

SMB FlexVol ボリューム上の NFSv4 監査ポリシーに関する情報を表示する ONTAP コマンド

ONTAP CLIを使用して、FlexVolボリューム上のNFSv4監査ポリシーに関する情報（セキュリティ形式と有効なセキュリティ形式、適用されている権限、システム アクセス制御リスト（SACL）に関する情報など）を表示できます。これらの結果を使用して、セキュリティ設定の検証や監査の問題のトラブルシューティングを行うことができます。

タスク概要

ストレージ仮想マシン（SVM）の名前と、監査情報を表示するファイルまたはディレクトリへのパスを指定する必要があります。出力は、概要形式または詳細リスト形式で表示できます。

- UNIX セキュリティ形式のボリュームと qtree は、監査ポリシーに NFSv4 SACL のみを使用します。
- UNIX セキュリティ スタイルの混合セキュリティ スタイル ボリューム内のファイルとディレクトリには、NFSv4 監査ポリシーを適用できます。

mixedセキュリティ形式のボリュームおよびqtreeは、UNIXファイル権限（モード ビットまたはNFSv4 ACL）を使用するファイルおよびディレクトリと、NTFSファイル権限を使用するファイルおよびディレクトリを格納できます。

- 混合セキュリティ形式のボリュームの最上位レベルには、UNIX または NTFS の有効なセキュリティを設定でき、NFSv4 SACL が含まれる場合と含まれない場合があります。
- ACL出力は、NTFSまたはNFSv4セキュリティが適用されたファイルとフォルダについてのみ表示されます。

このフィールドは、モード ビットの権限のみ（NFSv4 ACLはなし）が適用されているUNIXセキュリティ形式のファイルおよびフォルダでは空になります。

- ACL出力の所有者とグループの出力フィールドは、NTFSセキュリティ記述子の場合にのみ適用されます。
- ストレージ レベルのアクセス ガード セキュリティは、ボリューム ルートまたは qtree の有効なセキュリティ スタイルが UNIX であっても、混合セキュリティ スタイルのボリュームまたは qtree に設定できるため、ストレージ レベルのアクセス ガードが設定されているボリュームまたは qtree パスの出力には、通常の NFSv4 ファイルおよびディレクトリの SACL と、ストレージ レベルのアクセス ガードの NTFS SACL の両方が表示される場合があります。
- SVM に CIFS サーバが設定されている場合、UNIX ボリュームまたは qtree でストレージ レベルのアクセス ガード セキュリティがサポートされるため、出力には、`-path`パラメータで指定されたボリュームまたは qtree に適用されたストレージ レベルのアクセス ガード セキュリティに関する情報が含まれることがあります。

手順

1. ファイルとディレクトリのセキュリティ設定を必要な詳細レベルで表示します。

情報を表示する場合...	入力するコマンド
要約形式	<pre>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path</pre>

情報を表示する場合...	入力するコマンド
詳細	<pre>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path -expand-mask true</pre>

例

次の例は、SVM vs1 内のパス `/lab` に関するセキュリティ情報を表示します。この UNIX セキュリティ形式のパスには、NFSv4 SACL があります。

```
cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /lab

      Vserver: vs1
      File Path: /lab
File Inode Number: 288
      Security Style: unix
      Effective Style: unix
      DOS Attributes: 11
DOS Attributes in Text: ----D--R
Expanded Dos Attributes: -
      Unix User Id: 0
      Unix Group Id: 0
      Unix Mode Bits: 0
Unix Mode Bits in Text: -----
      ACLs: NFSV4 Security Descriptor
      Control:0x8014
      SACL - ACEs
              SUCCESSFUL-S-1-520-0-0xf01ff-SA
              FAILED-S-1-520-0-0xf01ff-FA
      DACL - ACEs
              ALLOW-S-1-520-1-0xf01ff
```

ONTAP SMBファイルのセキュリティと監査ポリシー情報を表示する方法を学びます

ワイルドカード文字 (*) を使用すると、特定のパスまたはルート ボリュームの下にあるすべてのファイルとディレクトリのファイル セキュリティと監査ポリシーに関する情報を表示できます。

ワイルドカード文字 () は、特定のディレクトリ パスの最後のサブコンポーネントとして使用でき、そのパス配下のすべてのファイルとディレクトリの情報を表示できます。「」という名前前の特定のファイルまたはディレクトリの情報を表示する場合は、二重引用符 ("") 内に完全なパスを指定する必要があります。

例

ワイルドカード文字を使用した次のコマンドは、SVM vs1 のパス '/1/'の下にあるすべてのファイルとディレクトリに関する情報を表示します：

```
cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /1/*

      Vserver: vs1
      File Path: /1/1
      Security Style: mixed
      Effective Style: ntfs
      DOS Attributes: 10
      DOS Attributes in Text: ----D---
      Expanded Dos Attributes: -
      Unix User Id: 0
      Unix Group Id: 0
      Unix Mode Bits: 777
      Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
      ACLs: NTFS Security Descriptor
            Control:0x8514
            Owner: BUILTIN\Administrators
            Group: BUILTIN\Administrators
            DACL - ACEs
            ALLOW-Everyone-0x1f01ff-OI|CI (Inherited)

      Vserver: vs1
      File Path: /1/1/abc
      Security Style: mixed
      Effective Style: ntfs
      DOS Attributes: 10
      DOS Attributes in Text: ----D---
      Expanded Dos Attributes: -
      Unix User Id: 0
      Unix Group Id: 0
      Unix Mode Bits: 777
      Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
      ACLs: NTFS Security Descriptor
            Control:0x8404
            Owner: BUILTIN\Administrators
            Group: BUILTIN\Administrators
            DACL - ACEs
            ALLOW-Everyone-0x1f01ff-OI|CI (Inherited)
```

次のコマンドは、SVM vs1のパス '/vol1/a'下にある「*」という名前のファイルの情報を表示します。パスは二重引用符 (" ") で囲まれています。

```
cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path
"/voll/a/*"
```

```
        Vserver: vs1
        File Path: "/voll/a/*"
        Security Style: mixed
        Effective Style: unix
        DOS Attributes: 10
        DOS Attributes in Text: ----D---
Expanded Dos Attributes: -
        Unix User Id: 1002
        Unix Group Id: 65533
        Unix Mode Bits: 755
        Unix Mode Bits in Text: rwxr-xr-x
        ACLs: NFSV4 Security Descriptor
              Control:0x8014
              SACL - ACEs
                AUDIT-EVERYONE@-0x1f01bf-FI|DI|SA|FA
              DACL - ACEs
                ALLOW-EVERYONE@-0x1f00a9-FI|DI
                ALLOW-OWNER@-0x1f01ff-FI|DI
                ALLOW-GROUP@-0x1200a9-IG
```

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。